

警報の発表イメージ（噴火警戒レベル 2）

火山名 ○○山 噴火警報（火口周辺）
平成19年12月1日09時30分 △△管区気象台

（見出し）

<○○山に火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）発表>
火口周辺で警戒が必要。
<噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げ>

（本文）

1. 活動の状況及び警報事項

○○山第一火口では、本日（1日）09時20分にごく小規模な噴火が発生しました。灰白色の噴煙が火口縁上800メートルまで上がり、北の方向に流れています。しばらくの間、火口周辺に影響する小規模な噴火が発生する可能性があります。火口周辺では噴火に伴う噴石等に警戒が必要です。

2. 警報対象市区町村

△△県：○○市、□□村

3. 防災上の留意事項

噴石の飛散に警戒
風下側への降灰に注意

<噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げ>

（参考：噴火警戒レベルの説明）

【レベル5（避難）】：居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生または切迫。危険な居住地域からの避難等が必要。

【レベル4（避難準備）】：居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性が高まっている。警戒が必要な居住地域での避難の準備。災害時要援護者の避難等が必要。

【レベル3（入山規制）】：火山活動は活発。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等。登山・入山規制等危険な地域への立入規制等。

【レベル2（火口周辺規制）】：火山活動はやや活発。
火口周辺への立入規制等。

【レベル1（平常）】：火山活動は静穏。特別の対応なし。
状況に応じて火口内への立入規制等。

（注：避難や規制の対象地域は、地域の状況や火山活動状況により異なる）

（補足：従来、火山情報として発表してきた火山災害への警戒事項については、平成19年12月から噴火警報（噴火予報）として発表しています。今回の噴火警報（噴火予報）は、従来の火山観測情報に相当します）＝

警報の発表イメージ（レベル未導入火山の場合）「居住地域で警戒」

火山名 ○○岳 噴火警報（居住地域）
平成19年12月1日09時30分 △△管区気象台

（見出し）

<○○岳に噴火警報（居住地域で警戒）発表>
居住地域及びそれより火口側の範囲で警戒が必要。
<入山危険から居住地域警戒に引き上げ>

（本文）

1. 活動の状況及び警報事項

○○岳で、本日09時20分頃、××火口から噴火が発生しました。噴火に伴い火砕流が発生し、○○岳北西側斜面の標高約1300m地点にある避難小屋付近まで達し、斜面の積雪が融けて泥流が発生しています。噴煙は火口縁上5000mまで達しています。現在、○○岳の上空は北西の風が吹いており、風下側にあたる地域では降灰の影響が考えられます。今後さらに噴火活動が活発化する可能性があり、その場合には、大規模な火砕流とそれに伴う融雪泥流が発生し、西側山麓の居住地域に到達する可能性がありますので警戒してください。

2. 警報対象市区町村

○○県：○○町、◇◇町、□□村
△△県：△△市

3. 防災上の留意事項

噴石の飛散、大規模な火砕流及び融雪泥流に警戒
風下側への降灰に注意

（補足：従来、火山情報として発表してきた火山災害への警戒事項については、平成19年12月から噴火警報（噴火予報）として発表しています。今回の噴火警報（噴火予報）は、従来の緊急火山情報に相当します）＝